



新しい幸市民館・図書館を考えるワークショップ

第2回テーマ 「ちょっと通いたくなる秘訣ってなんだろう？」

川崎市では、幸市民館・図書館が今後も市民の生涯学習活動を支える拠点となるよう、施設の老朽化対策等の内容や範囲を検討しています。

新しい施設が、誰もが安全・安心して気軽に利用できる施設となるよう、みなさまと一緒に事業・サービスや施設の利用ルールなどを考える全3回のワークショップを開催しています。

5月27日(土)10時～12時に19名の参加者で第2回ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、前回の意見交換で出た現在の幸市民館・図書館の課題や感想をもとに、4~5人のグループに分かれ、「ちょっと通いたくなる秘訣」と題して新しい施設に期待することなどの意見交換を行いました。



ワークショップでグループの意見を発表する様子

イベント・事例の紹介

ワークショップの冒頭で、参加者の皆さまに、幸市民館・図書館で実施されたイベントの紹介や青木茂建築工房が設計した図書館の再生事例を紹介しました。



グループワーク

～ちょっと通いたくなる秘訣ってなんだろう？～

前回のワークショップで出た施設の良い点・改善点などを踏まえて、通いたくなるような市民館・図書館について意見交換を行いました。

今回のワークショップでも、各々が思い浮かべる通いたくなる将来の幸市民館・図書館について、多世代間で活発な議論が行われました。



ワークショップで出された意見を紹介します

図書館	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースを広くする ・学生用の自習室を作る ・児童書スペースを広くする ・会話できるスペース ・屋外でも本を読めるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の壁をなくす ・カフェを併設する ・どこでも本が読めるようにする ・子どもが本を見ながら遊べるスペース ・子供が声を出してもいい図書館
その他の部屋	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・壁をパーティションやガラスにする ・部屋を統合して多目的化 ・子連れでも使いやすくする ・多様なイベントを開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事ができるスペース ・談話スペースを明るく自由な空間にする ・行政と市民が交流できる
通路 ロビーなど	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの一新 ・通路の壁をなくし開放感をだす ・幸区について発信するスペース ・エントランス付近に受付がある ・廊下をもっと活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいエントランス ・動線をわかりやすくする ・飲食できるスペース ・声についてエリアでルールを作る
中庭 屋上など	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭を活用する ・竹林を生かしたスペース ・イベントを開催する ・中庭で飲食できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化 ・屋上で遊べるようにする ・中庭で本を読めるようにする
トイレ バリアフリー	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式化などキレイなトイレにする ・トイレの位置を変える ・段差を解消してバリアフリーにする ・多言語表記にする 	
施設全体	建築  使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・外観を一新する ・交流を促す雰囲気を作る ・リピートをさせるための魅力、先進性 	<ul style="list-style-type: none"> ・開放性を確保する

まだまだ掲載しきれないほどたくさんの意見をいただきました。ありがとうございました！

ひとことアンケート ～ワークショップ後にいただいた意見を紹介します～

自分達の想像する
「使いやすい」
「行きたくなる」
図書館について話し
合えて楽しかった

多世代間で意見を出し
合うことができ、貴重
な時間であったと感じ
ています。

市民館をよくした
いという気持ちがあり、
素敵だと感じました。

図書館は本を借りる
だけしか利用されて
いないので工夫が必要
だと思った。

